
ふれあいバス住民意見交換会

企画（案）

平成23年6月

猪名川町

目次

1. 概要.....	1
1.1 開催目的.....	1
1.2 全体スケジュール.....	1
1.3 対象者.....	1
1.4 第1回意見交換会地区区分案.....	2
2. アウトプットイメージ.....	3
2.1 開催目的.....	3
2.2 アウトプット.....	3
3. 第1回意見交換会.....	4
3.1 開催概要.....	4
3.2 当日スケジュール.....	4
3.3 会場レイアウト.....	5
3.4 役割分担.....	6
3.5 準備物.....	7
3.6 ワークショップ（グループ討議）の留意点.....	8
3.7 開催にあたって.....	10

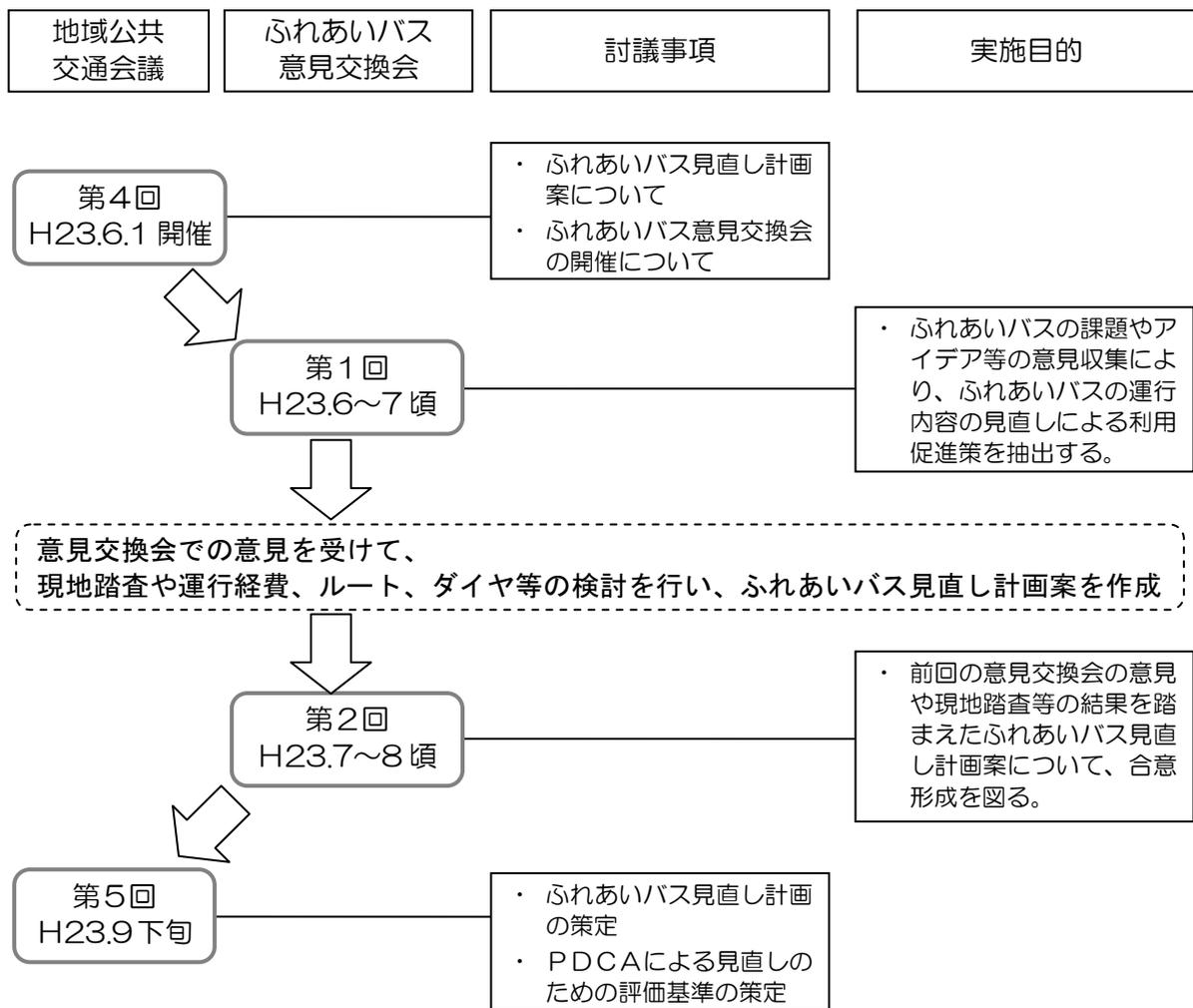
1. 概要

1.1 開催目的

猪名川町公共施設循環バス「ふれあいバス」見直し計画策定にあたり、地域住民の方と利用実態を共有し、評価、見直しを進めることを目的として、ふれあいバス意見交換会を開催する。

なお、第1回意見交換会では、より地域の声を収集するために、地域の状況を踏まえながら、各地区で意見交換会を開催する。

1.2 全体スケジュール



1.3 対象者

まちづくり協議会、自治会長、各種団体、公募の地域住民等

※広報誌等により周知を図る

2. アウトプットイメージ

2.1 開催目的

(1) 多くの住民との意見交換・共有（第1回）

ふれあいバスの運行状況について住民に知ってもらい、運行に係る課題を、多くの住民から直接ヒアリングすることにより抽出する。また、その意見を参加者全員で共有し、ふれあいバスについて考える契機とする。

(2) 住民と行政が連携した運行計画の見直し（第2回）

共有した課題を基に、運行計画の見直しを提示し、意見を収集する。



図 1 開催イメージ

2.2 アウトプット

グループ討議においてとりまとめた模造紙等から、運行内容見直しに資する意見を整理し、ふれあいバスの今後の運行及び利用促進策を抽出する。

整理する項目としては、以下のものが挙げられる。

- ・ 路線
- ・ 運行所要時間
- ・ バス停間隔・位置
- ・ 運行時間帯、便数
- ・ 運賃、すこやかカードによる運賃無料制度
- ・ 車両（バス or その他） 等



図 2 グループ発表イメージ



図 3 とりまとめイメージ

※アウトプットとは

地域住民意見交換会を開催することによって、結果として生じるものをいう。ここでは、ふれあいバスの今後の運行や利用促進策の案が該当する。

3. 第1回意見交換会

3.1 開催概要

(1) 開催日時：平成23年6～7月を予定

(※開催時間は、平日の夜間(18:30～20:30)、土曜日、日曜日を予定)

(2) 開催場所(案)：各地区

(3) 参加者：30～40人程度

(8人程度を1班として、4班に振り分け。まちづくり協議会、自治会長、PTAなど)

(4) 検討内容：ふれあいバスの現状及び課題について

(5) 目 標：ふれあいバスの運行内容の見直しと利用促進策の抽出

(6) 配布資料：意見交換会の主旨と全体スケジュール

3.2 当日スケジュール

表1 当日スケジュール

時間	項目	内容	担当	備考
18:30	1.あいさつ	・意見交換会への協力に対するお礼 ・本日の説明会の趣旨説明	天野会長*	
18:35	2.ふれあいバスの現状と課題の説明	①ふれあいバスの現状について ②ふれあいバスの運行目的と目標	猪名川町	PPTを使用
18:50	3.グループ討議	①ふれあいバスの課題抽出(25分) ②ふれあいバスの利用促進策の提案・アイデア(25分) ③とりまとめ(15分)	猪名川町 コンサル	
19:55	休憩	—	—	—
20:00	4.グループ発表	・グループ毎の発表(各班5分)	参加者	
20:20	5.今後のスケジュール	・今後のスケジュールについて	猪名川町	
20:30	6.閉会		天野会長*	

※天野会長が参加可能な場合(参加できない場合は、部長あるいは課長が担当予定)

3.3 会場レイアウト

3.3.1 配席・グループ分けの考え方

- グループ作業を行うため、4班分の作業スペースを確保（※人数により班数は適宜変更）。
- 会場での受付順などによって小学校の校区にグループ分け。
- 猪名川町、コンサルなどは適宜参加者の間に着席。

3.3.2 配席図（案）

配席のイメージ図を以下に示す。

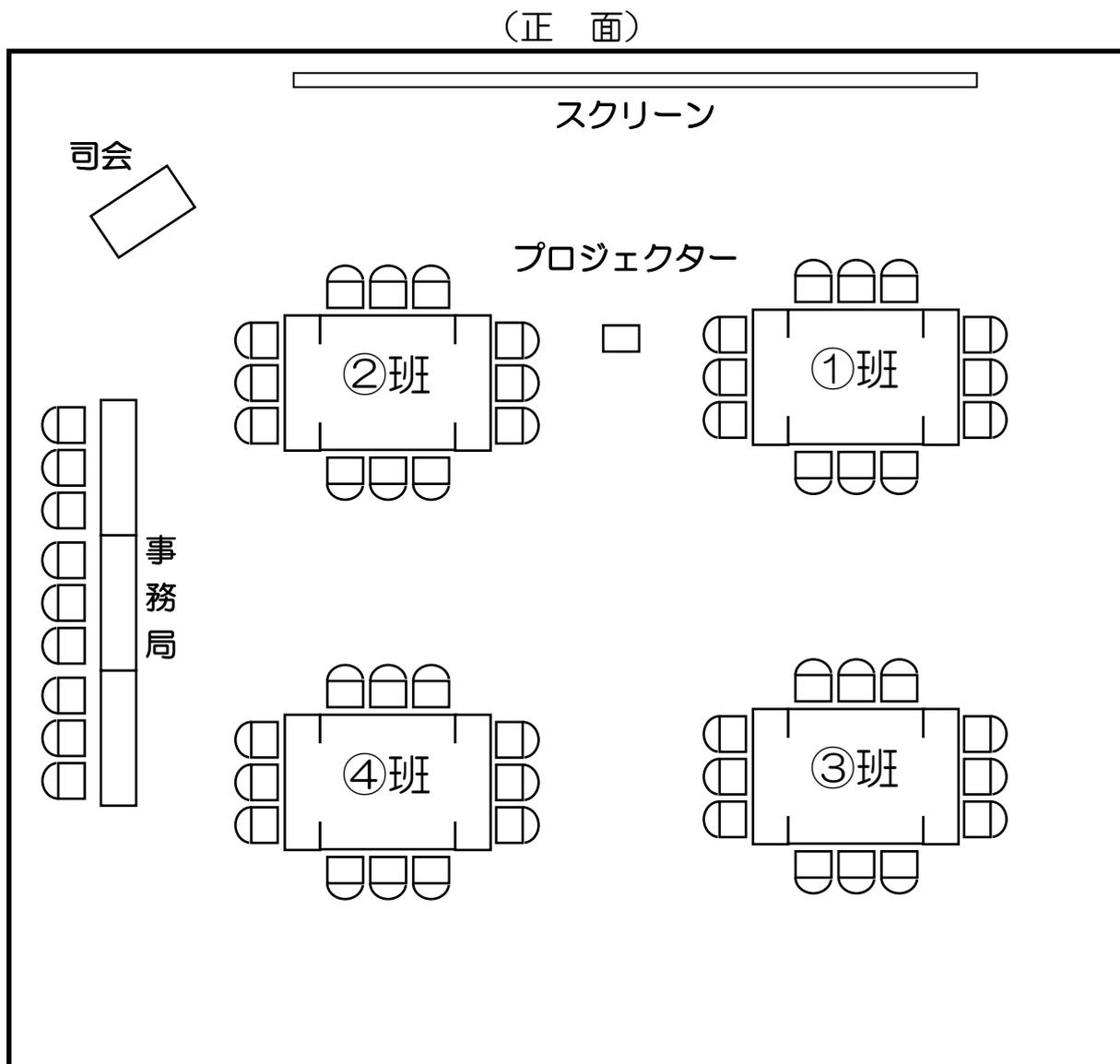


図 4 会場配席（案）

3.4 役割分担

開催準備からとりまとめまでの役割分担を下記に示す。

表 2 役割分担

実施項目			役割分担	
分類	内容	備考・留意点	猪名川町	コンサル
開催準備	ワークショップの企画	—	○	○
	日程・会場設定	—	○	—
	開催案内	—	○	—
	資料作成・印刷	—	—	○
	備品の準備	—	—	○
運営支援	会場設営	—	○	○
	資料説明	パワーポイント使用	○	—
	グループ討議の進行	—	—	○
	意見の記録	模造紙に付箋等を用いて記録	○	○
	とりまとめ・情報共有	KJ法を用いてとりまとめ	—	○
とりまとめ	意見の整理・分析	意見を整理・分析し、計画に反映	—	○
	広報原稿の作成	広報いながわ等に掲載する広報原稿の作成	○	○

※KJ法とは

問題解決のアイデアを出す手法。KJ法の呼び名は、考案者・川喜田二郎氏のイニシャルを由来とする。具体的には、ブレン・ストーミングで出された事象を紙に1つずつ書き出し、グルーピングにより、小さなグループにまとめる。さらにそれを中グループ、大グループに分類していく。つまり、様々な関連する事象を、組み立てて図解していく作業である。こうした作業を通じて、課題に対する解決策やヒントのきっかけを生み出していく。

■受付・開会時間まで

担当：猪名川町

班分け：4班（最大10人をめどに振り分け）

■全体

あいさつ（天野会長・部長・課長）

全体司会（猪名川町）

資料説明（猪名川町）

■班毎のグループ討議

進行（猪名川町・コンサル：1名）：グループ毎での進行。

記録（猪名川町：1名）：ポストイットを貼る、意見を模造紙に記入するといった記録。

発表（参加者：1名）：グループで一般参加者1名に発表してもらう。

3.5 準備物

当日使用する備品の一覧を下記に示す。

表 3 準備物

	準備物	個数	コンサル	猪名川町
配布資料	・議事次第	50部	○	
	・当日アンケート	50部	○	
	・全体シナリオ	10部	○	
	・ふれあいバスの現状と課題	パワーポイントを使用	○	
ワークショップ用品	・名札	50個	○	
	・記入用のペン	50個	○	
	・模造紙記入用のカラーペン	4セット	○	
	・ポストイット	3色×4セット	○	
	・ふれあいバス路線図(1/10000)現況	1枚×4セット	○	
	・グループ討議用の模造紙	2枚×4セット	○	
	・テープ等	適宜	○	
	・グループ名の札	4班分(色つきのもの)	○	
	・発表最終時間のお知らせの紙	1セット	○	
	・レーザーポインター、指し棒	1	○	
	・プロジェクター、ノートパソコン	1	○	
	・スクリーン	1		○
記録	・録音(ICレコーダー)	1	○	
	・カメラ	1	○	

3.6 ワークショップ（グループ討議）の留意点

運営側・参加者側双方におけるワークショップ（グループ討議）の際の留意点を下記に示す。

3.6.1 3つの原則・6つのルール

(1) 原則その1 自由な発言

自由な発言を最大限に尊重する。

ルール① 参加者の見解は、所属団体の公的見解としない。

ルール② 特定の個人や団体のつるし上げは行わない。

(2) 原則その2 徹底した議論

安易な妥協は求めず、徹底した議論から相互信頼の土壌をつくる。

ルール③ 議論はフェアプレイの精神で行う。

ルール④ 議論を進めるにあたっては、実証的なデータを尊重する。

(3) 原則その3 合意の形成

合意に基づく実行性のあるデータを尊重する。

ルール⑤ 問題の所在を明確にした上で、合意形成をめざす。

ルール⑥ 現在係争中の問題は、客観的な立場で事例として扱う。

3.6.2 グループ討議の流れ

① 意見出し (50分)

○自己紹介

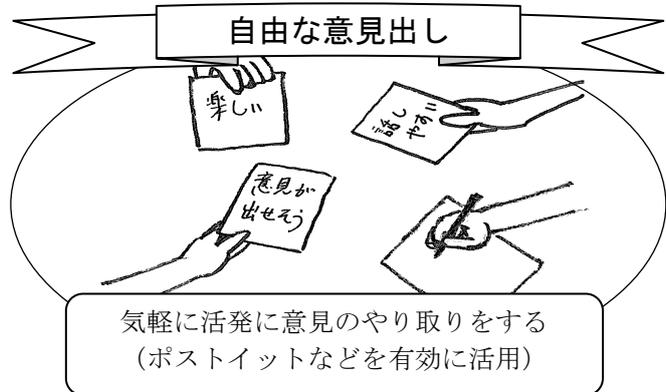
○意見出し (一人ずつ順番に少しずつ)

- ・意見をポストイット1枚に1件
- ・賛成でも、反対でも
- ・人の意見を聞いて思いついたことも
- ・質問も

→町の担当者が後でお答えする

○意見交換

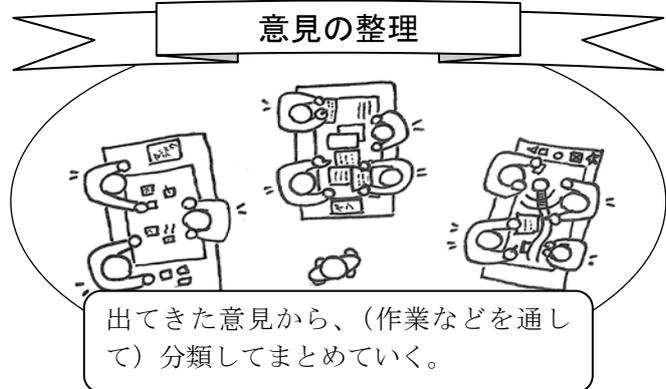
- ・出された意見について、グループ全員で議論
- ・意見の否定はしない。ただし、話し合いの枠組みから外れる意見についての議論はしない。



② 意見の整理 (20分)

○意見の整理

- ・ポストイットを並べ替える。
- ・強調したいことアピールすべきことを項目別にまとめる。



③ グループ発表 (20分)

- ・グループごとに発表
(予め決めておく、複数もOK)
→ ファシリテーター以外で
- ・発表内容は、事前にグループ全員で確認
- ・発表はグループで5分厳守
- ・発表者以外でも追加の発表があれば一緒に



3.7 開催にあたって

(1) 意見交換会（ワークショップ）の位置づけ

- ・ふれあいバス見直しにあたり、地域住民・利用者の声を反映する。
- ・意見をふれあいバス見直し（案）に反映していく。

(2) 議論の範囲

- ・猪名川町内での路線見直し・検討

(3) 対応可能な事項

- ・ルートの立ち寄り先
- ・バス停間隔、位置
- ・運行時間帯、便数
- ・車両（バス or ジャンボタクシー）